

施設名	指定管理者名	評価	評価内容
横浜市深谷俣野地域ケアプラザ	(福) 聖母会	A	<p>(地域活動・交流)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新たに開所したケアプラザの認知度を向上していくため、積極的に地域へ出向いて説明し、SNSなども利用して広報活動に努めました。</li> <li>・ ケアプラザで行っている様々な事業から、地域のニーズを敏感に読み取り、地域住民や他機関、事業所等と連携した事業を取り組みました。</li> <li>・ 障害児余暇支援事業では、学校の統廃合の影響を受けた、個別支援学級の生徒の放課後の居場所づくりという課題に取り組みました。また、学齢期を終えた後の居場所づくりの必要性を感じているということで、今後の取組に期待します。</li> <li>・ 7月に開所して以降、様々な自主企画事業を実施しました。特に、住民による対話の場を通じて地域課題を抽出し、他のネットワーク会議との共有を図ったことで、共通の課題を分析することができました。こうした取組を継続し、地域ケアプラザの各事業にも反映していけることを期待します。</li> <li>・ とつかハートプランの一環で地区が取り組んでいる地域福祉情報マップについて、地域住民や関係機関と連携しながら、更新作業に取り組みました。</li> <li>・ 企業の発行する認知症の家族を介護する人に向けたガイドブックについて、企業、地域住民、関係機関、ケアプラザ各職種間とも協議・調整し、発行の支援を行いました。</li> </ul> <p>(生活支援体制整備事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活支援コーディネーターの業務について、ケアプラザ内で情報共有を行い、5職種等の連携強化に努めました。</li> <li>・ サロン等の地域活動へ積極的に参加し、地域資源の把握に努めました。</li> <li>・ ケアプラザ運営協議会と合わせて協議体を実施し、事業の説明や地域状況の共有等を行いました。</li> </ul> <p>(地域包括支援センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成29年7月に開所したばかりではありますが、地域包括支援センターの事業を適切に実施しました。</li> <li>・ 地域へのケアプラザの認知度向上に力を入れており、積極的に地域へ出向いて説明しているほ</li> </ul>

			<p>か、自分の情報が書き込めるオリジナルのリーフレットを作成し配布しました。また、地域が作成する広報紙に、専門職としてワンポイントアドバイスを掲載することでケアプラザの PR にもなりました。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 地域の会合、老人会等の集まりに積極的に出向き地域の方との顔の見える関係性づくりや地域包括支援センターの周知を行いました。</li><li>・ 介護者のつどいを月 1 回開催し、料理教室や介護者への情報の周知など行いました。</li><li>・ 奇数月に地域会場で行う、在宅医療相談室の医療相談会に参加し、相談者に対し介護保険や介護保険外サービス等の情報提供を行いました。</li><li>・ 訪問看護事業所の理学療法士と連携し、地域向けに健康寿命や運動習慣の必要性についての講座を実施しました。</li><li>・ 介護予防・生活支援サービス補助事業交付団体を包括が訪問し事業内容を把握し、居宅介護支援事業者と交付団体とのカンファレンスを実施し、介護予防ケアマネジメントの中に活用しています。</li></ul>
--	--	--	--